


2019  
学生の  
選んだ  
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award  
Prize Winners List 2019

- 授業内容は教職員ポータルまたはキャンパスライフエンジンから「[シラバス検索](#)」で確認できます。
- 教職員が授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- 所属等は2019年4月現在です。

 東海大学教育支援センター

発行：東海大学教育支援センター 編集：教育支援センター教育支援課 発行日：2019年6月1日  
TEL：0463-58-1211（内線2086） E-mail：shien@tsc.u-tokai.ac.jp

教育支援センターのホームページ  
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

東海大学教育支援センター

検索



Tokai Univ. Teaching Award  
Prize Winners List 2019

 TOKAI UNIVERSITY  
EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

## ◆ 一緒につくろう! 『いい授業』 ◆

### 学生の皆さんへ

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」を担当している先生方を表彰させていただきましたのでお知らせします。

以前に実施した「授業のあり方に関するアンケート調査」および公開シンポジウムから、「知的好奇心が持てる」授業は皆さんにとっても先生方にとっても「いい授業」であることがわかりました。

先生方がいろいろな工夫をして、わかりやすい授業を展開できるようになるためには、皆さんに答えていただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には互いの信頼が重要です。これからもアンケートへの回答をよろしく願いいたします。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう。

東海大学学長 山田 清志



### 「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

#### 自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探索する力

#### 集い力

多様な人々の力を結集する力

#### 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

#### 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を實現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくっちゃおう!!

東海大学の「4つの力」  
イメージキャラクター **リッキー**



## ◆ 優秀賞受賞者 (2018年度選出) ◆

教養学部国際学科

田辺 圭一先生

体育学部体育学科

内田 匡輔先生

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻

中川 淳雄先生

国際文化学部国際コミュニケーション学科

ティーンエリックスティーブン先生

国際教育センター英語教育部門

星野 芳恵先生

### 選考方法

東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象として、授業についてのアンケートの「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率等」を考慮した候補者リストの中から、学部等により候補者を推薦していただき、最終的に大学運営本部が中心となって厳正なる審査を行いました。

また、授業のポイントである3要素、「わかりやすい」、「聞き取りやすい」、「関心が持てる」は、選定の重要な項目です。

受賞者ページ(p4~8)中では、右のアイコンを設け、受賞教員が心がけているポイントを記載してありますので参考にしてください。

わかりやすくする

関心を持たせる

聞き取りやすくする

### 【授業についてのアンケート】





教養学部国際学科

田辺 圭一先生

Tanabe Keiichi

E-mail : keiichi.tanabe@tokai.ac.jp



【学 位】修士(国際関係論)
【専門分野】平和構築/人間の安全保障/国際開発論
【主要授業担当科目】人間の安全保障/現代教養科目/国際学序論A/卒論研究/専門ゼミ/International Development

立体的な理解を目指す授業

実務家出身のバックグラウンドを活かして、「現実」を見据えた授業とするように心がけています。その際に視聴覚教材を取り入れて学生の立体的な理解を促しています。視聴後はグループディスカッションを通して他人の観点を学び、また自分の意見に対してフィードバックを得て、それらを通じて得た「気づき」をレポートにまとめてもらうことで論理的整理をしてもらいます。また、考え方の基本的な枠組みとして時間と空間をそれぞれ縦軸・横軸にした簡単な座標軸をイメージして、当該問題の歴史的背景や他国での状況、といった立体的視点を持つうえで、「いま、ここ」の問題に立ち返ってくるように促しています。



田辺先生の『授業をよくするための』テクニク

授業冒頭に前回の授業の要点を学生に発表してもらい理解の定着を図っています。また、各キーワードの概念を説明する際に、それらの関係性を図式化するなどして視覚的イメージが湧きやすいようにしています。

知的好奇心を刺激するよう努めています。現代の日本に生まれたことは偶然の幸運だと気づいてもらうことで、困難な現実と直面している世界の人々を他人ごとではなく身近に感じてもらう、問題の構造に関心が向くように仕向けています。

特に工夫はありませんが、滑舌が良いわけではありませんので、よどみなく話すというよりも、「間」を意識して話をするようにしています。



体育学部体育学科

内田 匡輔先生

Uchida Kyosuke

E-mail : k-uchida@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】修士(体育学)
【専門分野】アダプテッド・スポーツ科学/体育科教育学/発育発達
【主要授業担当科目】学校保健概論/障害者教育論/アウトドアスポーツ理論実習/アダプテッド・スポーツ概論/保健体育科教育法1

アダプテッドの視点ですべての授業を

私の専門としている研究は、アダプテッド・スポーツという領域です。この領域では、障害のある人はもちろん、幼児から高齢者、体力の低い人であっても参加することができるスポーツについて考えています。私が心掛けているのは、この考えをスポーツのみならず、座学でも演習や実技でも、いつも念頭に置くということです。資料は見やすいだろうか?言葉は聞き取りやすいだろうか?板書は見やすく書かれているのか?パワーポイントのカラーバリエーションは?ゲームには誰もが参加できるのか?等々。どのような学生も理解が深まると、授業後には笑顔が溢れ質問が返ってきます。その顔や声を楽しみに、「アダプテッドの視点」を基に授業を行っています。



内田先生の『授業をよくするための』テクニク

具体的な例を多く挙げます。例えば、学校保健概論の授業で健康管理について学ぶ際、「修学旅行の夜」を挙げます。宿舎の見回りの必要性を話すとき、ノックの仕方や生徒とのエピソードを交え学生にとっての「あるある話」にします。誰もが体験したちよって甘酸っぱい、苦い思い出が、喚起され分かり易いと感じるようです。

必ず発問をします。授業内容に関連した問題を提示し、学生を指名します。そうすることで、緊張感を持ち、受け身でなく、授業にやりとりが生まれやすくなります。問いは「具体的」であることが重要です。そして、「意外性」のある解説をし、「思考を促す」ことで関心が持てるよう促します。

言葉を安易な単語に変換して表現します。難しい言い回しを極力避け、文章をつなぐ接続詞の使い方に気を付けます。「え〜」「あ〜」といった意味のない言葉を排除し、理解しやすい言葉で、意味のある内容をまとめ、聞き取りやすくできればと思っています。

「いい授業」のために私はコレを活用

特別な道具は使いません

授業は、教員と学生がともに作り上げていくものであると考えていますので、学生に当事者意識を持ってもらうことを意識しています。特に、質問することを課して授業に真剣に取り組むよう促しています。

学生VOICE!!



三上 葵さん 教養学部国際学科 4年次生

田辺先生は、講義形式だけでなく映像も用いて授業して下さいます。映像を通して、開発途上国ではどのようなことが起こっているのかイメージが湧き、理解を深めることができます。また、学生一人一人に真摯に向き合い、分からないところがあれば分かるまで教えて下さいます。難しい講義内容でも早くから挑戦することができますと思います。私は田辺先生の講義を通して、開発途上国での支援をしたいという夢を持つことができました。

「いい授業」のために私はコレを活用

手話

手話のみで授業を進めると、机の上に落ちていた視線が正面に戻ってきます。また、手を動かすので、時には授業の合間の気晴らし、または体験的な活動や、理解が深まるツールになることもあります。

学生VOICE!!

南雲 小夜花さん 文学部広報メディア学科 4年次生

障害者教育論では、目を閉じて手を叩いた方向を当てるなど障害がある状態を「想像」したり、手話やアンブティサッカーで「体験」したりするなど、障害について身をもって学ぶ事が出来ました。最終レポートでは想像したこと、体験したことを生かし、共生社会へ向けたフィールドワークをすることが出来ました。内田先生は学生の意見や感想について、フィードバックを積極的に行ってくれたため、考えを深めることができました。



田辺先生の2019年度の授業 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 人間の安全保障A, 人間の安全保障B, 専門ゼミナール1.

田辺先生の2019年度の授業 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include INTERNATIONAL DEVELOPMENT A, INTERNATIONAL DEVELOPMENT B, 専門ゼミナール2.

内田先生の2019年度の授業 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 保健体育科教育法1, 学校保健概論, アウトドア・スポーツ理論実習.

内田先生の2019年度の授業 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 4 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include アダプテッド・スポーツ概論, 健康フィットネス理論実習, 学校保健概論.

※1 小児保健・精神保健・学校安全を含む ※2 個別クラス



工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻

中川 淳雄先生

Nakagawa Atsuo

E-mail : an-tokai@tokai-u.jp



【学 位】工学士
【専門分野】操縦士技能証明の教育・訓練とその管理/航空力学
【主要授業担当科目】航空基礎実験/航空概論/航空力学/航空機システム工学/卒業研究1/卒業研究2

感覚で理解する

高校時代の授業は面白く、苦手の国語や漢文まで今でも思い出します。しかし大学時代を思い出そうとすると、式の展開などを理解はするものの、その意味するところが感覚に落とし込めず、面白かったという印象が持てませんでした。今私が教えているのはパイロットになろうとしている学生なので、自分の飛行状態や機体システム状況を感覚に落とし込ませて、飛行訓練でも直ぐに対処できるようにしたいと思っています。



中川先生の『授業をよくするため』のテクニック

小さいころ初めて自転車に乗った時、何故乗れるようになったのか。理屈ではなく体の感覚だけで分かったからです。3次元運動の飛行機はそこまで簡単ではないけれど、体感に落とし込める知識の付与を心掛けています。

私自身が楽しそうに教えること。だと思っています。ただ「覚える」ではなく、「ほら、こんな理由なんだよ」の説明が大切だと思います。また、実例の引用や、飛行機の事故やインシデントの紹介を付けて、記憶に残りやすい印象付けをしているつもりです。

聞き取りやすくなる。地声が大いのでマイクは使いません。体力は要りますが、大好きなチョコレートでエネルギー補充しています。

「いい授業」のために私はコレを活用

飛行機の模型や実物のプロペラ

飛行機の模型を使って飛行状態のデモンストレーションをしたり、プロペラの現物を触らせて効果的な推力の発生仕組みを体験してもらいます。

学生VOICE!!

佐々木 陽登さん

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻 2年次生

中川先生の授業では動画などの参考資料や模型などを多く用いて説明して下さるので、強く印象に残りテストや国家試験において知識面でとても役に立ちました。また、実際に模型を飛ばすことによって飛行機の形状による特性や各部分の動きなどの理解をより深めることができました。分からないことがあり質問に行った際には的確に答えて下さったり、親身になって相談に乗って下さったりと良い先生です。



中川先生の2019年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 操縦士と人間力, 航空概論, 航空機システム工学.

秋学期

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 航空力学, 航空機基本システム, 航空総合演習1.

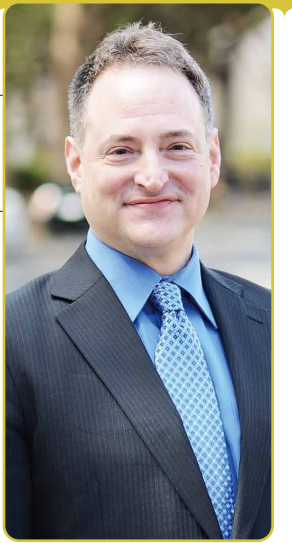


国際文化学部国際コミュニケーション学科

ディーン エリック スティーブン先生

Eric Steven Dean

E-mail : ericdean@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】修士(教育学)
【専門分野】英語
【主要授業担当科目】スピーキングストラテジー1/リスニングストラテジー1/ゼミナール1/英語で学ぶアメリカンカルチャー/BUSINESS COMMUNICATION

新しいものを取り入れる

札幌キャンパスは先生と学生との距離が近く、一人ひとりのことを見ることができるところ。とくにゼミの学生は10名程度で、学生とともに私自身も学ぶことができます。私はいつも、学生から学んでいるんです。それが良い先生になれる秘訣だと考えています。そして何よりも気にかけているのは、情熱を持つこと。授業でいつでも新しいものをみ取り入れていく気持ちがより良い授業を行うことに繋がると思います。



ディーン先生の『授業をよくするため』のテクニック

昔ながらの聴講型の授業だけでなく常に有効な授業方法を考えています。クラスが賑やかで活発なエネルギーで満ちているかどうかを気にかけるようにしています。

興味はグラフィックデザインでパソコン操作が好きのため、タブレット端末なども授業に使っています。スマホを使いながら授業することにもチャレンジしています。

聞き取りやすくなる。学生が理解できているかを確認しながら、話すようにしています。英語への興味は学部や学生によっても違います。それを把握し、学生たちに合わせた授業の進め方をしています。

「いい授業」のために私はコレを活用

警告カード

レッドカード。学生たちの態度が良くない、集中できていないなど、何かあった時に備えて「レッドカード」をポケットに忍ばせていますが、まだ使ったことはありません。

学生VOICE!!

高橋 昂汰さん

国際文化学部国際コミュニケーション学科 2019年3月卒業

ディーン先生の授業では一般的に学ぶ座学の英語だけではなく、実用的な英語や海外で働くのに必要なビジネス英語が学習できます。また、それに加えてチャレンジ精神を学ぶ事が可能な講義でした。日本人は外国語や馴染みのない文化に直面した時に、恥ずかしいという思考になりますが、相互理解を深めるきっかけや方法も学習できました。現在はグローバルマインドの思考を培い、本社がシンガポールにある企業で働いています。



ディーン先生の2019年度の授業

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include スピーキングストラテジー1, リスニングストラテジー1, ゼミナール1.

秋学期

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 英語で学ぶアメリカンカルチャー, リーディングストラテジー1, BUSINESS COMMUNICATION.



国際教育センター英語教育部門

星野 芳恵 先生

Hoshino Hanae

E-mail : hhanae246@hotmail.com



【学 位】 修士(文学) / 修士(教育)  
 【専門分野】 比較文学 / 英語教育  
 【主要授業担当科目】  
 英語リーディング&ライティング /  
 グローバルスキル

## 学生主体の授業作り

コミュニケーションを円滑に行うことが出来る環境作りと、その方法を意識するようにしています。学生のスモールトークや作文、自己紹介などから、教員が早い段階で学生の氏名や顔、性格や興味、能力を知ること、各学習者に合った学習提案をすることが可能となります。良いコミュニケーションとは適切な情報交換と相手への気遣いだと考えていますので、学生をよく観察し、教室を回り、必要に応じて適切にアドバイスしています。また、教員側が一方的に話すようなコミュニケーションは避け、学生が自らの役割を客観的に認識し、発揮できる学生主体のペアワークとグループワーク中心のアクティビティや課題をデザインし、授業に取り入れています。



## 星野先生の『授業をよくするための』テクニック

**わかりやすく**  
 理解が必要な内容を教員が平易な言葉で説明して終わるだけでなく、**学生が理解した内容を発表したり、授業始めに前回の学びの要点を説明させる**などのペアやグループでのアウトプットを習慣的に行える機会を設けています。

**関心を持てる**  
 授業内容に関連した文化的観点からの解説や、知的好奇心をくすぐる内容を**視覚教材を使用しながら紹介したり**、教員自身の経験を共有することで、学習者自身が関心を持つ分野に学びをどう繋げられるかを考えてもらうようにしています。

**聞き取りやすく**  
 適切な速さと声量で話すように心がけるのはもちろんですが、学習者によって要望があることもあるので、状況に合わせて**臨機応変に学習者のニーズに応える**ようにしています。

「いい授業」のために私はコレを活用

### ペア決めのくじ

学生には毎授業始めにくじを引てもらい、違う相手と互いに協力しながら学ぶようにしています。使用する補助教材は、学生の取り組み状況などを考慮しながら毎回修正し、普段から様々な情報収集をするようにし、授業に生かせるように心がけています。また、学生には学期末のアンケートを待たずに、日頃から感想や要望は率直に伝えるよう話しています。

## 学生VOICE!!

アルムタイリ アブドラハマン ホダ さん  
 工学部電気電子工学科 2年次生

星野先生は私の英語(特に文章)を上達させてくれました。とても感謝しています。私は授業開始当初、英語のライティングコンテストに参加する自信はありませんでした。しかし、星野先生から信頼してもらい励まされたことやクラスメイトから参加するのに必要な自信を得ることが出来ました。私はコンテストに参加し私のエッセイがその年の文集に掲載してもらえたことが本当に嬉しかったです。星野先生には本当に感謝しています。



星野先生  
2019年度の  
授業

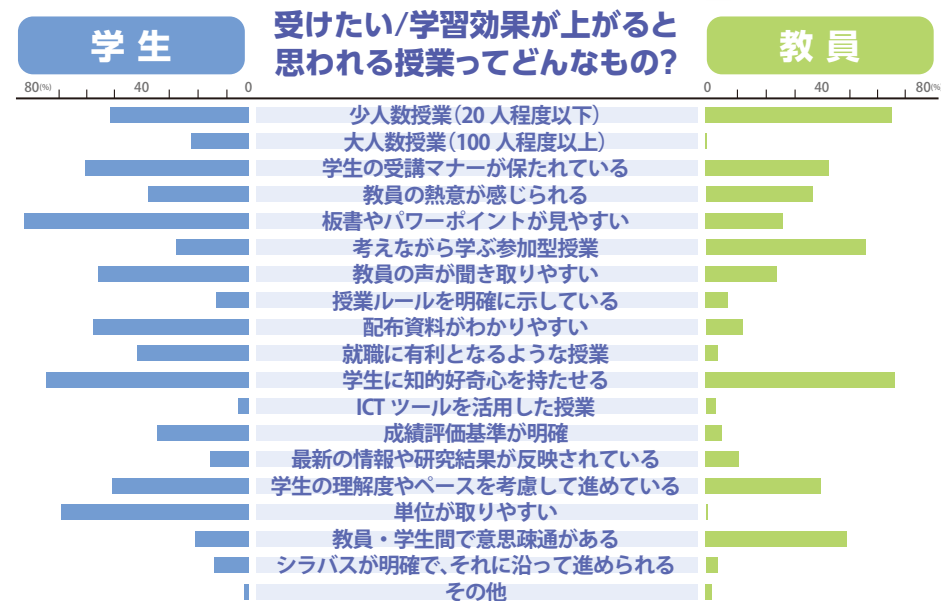
▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「**シラバス検索**」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語リーディング&ライティング	必	2	湘南
	グローバルスキル	必	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語リーディング&ライティング	必	2	湘南
	グローバルスキル	必	2	湘南
	TOEFL初級	選	2	湘南

## いい授業 アンケート結果

※2016年実施結果



## 学生が思うベスト3

- 1 板書やパワーポイントが見やすい
- 2 学生に知的好奇心を持たせる
- 3 単位が取りやすい

### POINT

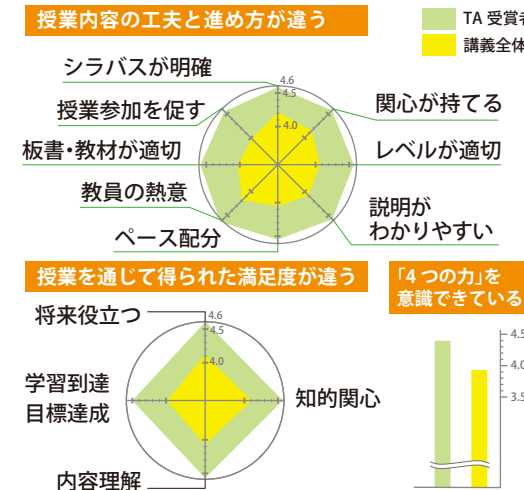
「知的好奇心を持たせる」は、いずれでも上位に!

## 先生が考えるベスト3

- 1 学生に知的好奇心を持たせる
- 2 少人数授業(20人程度以下)
- 3 考えながら学ぶ参加型授業

## TA受賞者と講義科目全体を比較

※2018年度実施結果

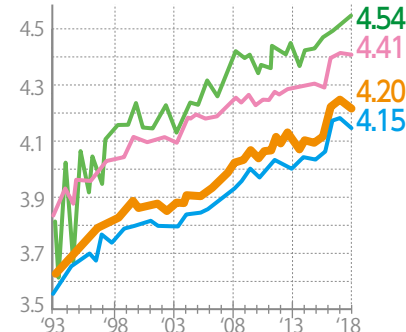


## 今回の総合評価は...

4.20 (5点満点中)

※2018年度秋学期の平均

### [総合評価の推移(全教員)]





「いい授業」をするためには…

東海大学教育支援センター  
利根川所長に聞く

# 授業改善のポイント集

監修/  
東海大学教育支援センター



ポイントは  
この9つ!

- ポイント!
- 1 宣言する!
  - 2 積極的な挨拶!
  - 3 名前を覚える!
  - 4 グループディスカッションを行う!
  - 5 学生の個性を知る!
  - 6 ミニッツペーパーを活用する!
  - 7 双方向授業を心がける!
  - 8 ツールを活用!
  - 9 授業についてのアンケート結果を見直す!



健康診断のレントゲンや採血で体の状態を診断するように、「授業の状態」も教育支援ツールを使うことで見えてきます。病気が薬や適切な処置によって元気になるように、授業もアカデミック・スキルを用いることで、教育的な効果を高めることができます。ここでは、教育支援ツールとスキルを使い、学生の力を伸ばすための授業改善ポイントをご紹介します。以下のポイントで自分の授業を見直してみませんか。

- ポイント!
- 1 宣言する!
  - 2 積極的な挨拶!
  - 3 名前を覚える!
  - 4 グループディスカッションを行う!

「いい授業」には、学生のマナー向上が不可欠。そのために必要なポイントは4つあります。まず1回目の授業で、授業マナーやルールについてきちんと「宣言」すること。学科等で明確にガイドラインを決めておくともスムーズでしょう。他にも、毎回授業で小テストを実施する、シラバ

スと一緒に決まり事を配布する、座席指定をするなどで効果を出すことができます。  
次に重要なのが先生から学生への積極的な挨拶です。後列に座っている学生に積極的に話しかける、名前を覚えて呼ぶ、教室内を回り学生と対話する、といったことは、学生にとって想定以上の感動体験となるので、結果として授業マナー向上に効果的といえます。  
さらに学生が主体的に学べるようにするために、グループディスカッションが導入できればより効果的です。私語が減る効果があり、学生自身の理解度も向上します。

- ポイント!
- 5 学生の個性を知る!

学生の個性を把握するためには、教職員と学生の間で十分なコミュニケーションが必要となります。「4つの力」のアセスメント結果(教育支援センター実施)では、各学生のリテラシーやコンピテンシーを確認することができるので、個性に応じた対応を適切に行うための目安として活用してください。なお、教職員は学生に返却している結果報告書を学生支援システムで閲覧することもできます。これにより、履修学生やゼミ学生の状況把握だけでなく、プロジェクトやクラブ活動の指導時にも活用可能です。

4つの力(1) 文書読解力 (17項目)	4つの力(2) 文書理解力 (15項目)
<ul style="list-style-type: none"> <li>01 文書読解力(1)</li> <li>02 文書読解力(2)</li> <li>03 文書読解力(3)</li> <li>04 文書読解力(4)</li> <li>05 文書読解力(5)</li> <li>06 文書読解力(6)</li> <li>07 文書読解力(7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>08 文書理解力(1)</li> <li>09 文書理解力(2)</li> <li>10 文書理解力(3)</li> <li>11 文書理解力(4)</li> <li>12 文書理解力(5)</li> <li>13 文書理解力(6)</li> <li>14 文書理解力(7)</li> <li>15 文書理解力(8)</li> </ul>

▲「4つの力」アセスメント結果のサンプル  
12の項目から構成され、項目ごとに7段階で評価される。

- ポイント!
- 6 ミニッツペーパーを活用する!

黒板をノートに写しているだけで勉強している感を残してしまう「板書のまる写し習慣病」や、勇気がなくて質問することなく「分からない」が累積して学習意欲が低下する「分からないだけ症」。これを避けるために、毎回授業の理解度チェックをすることはとても重要です。  
このミニッツペーパーを使い、授業の「工夫の効果」や「理解度」、「関心度」を日頃からチェックしておけば、授業改善のヒントを得ることができるでしょう。ここで入手した情報を「理解度」の進んでいない部分の対応やレポート課題や小テスト・定期試験の出題内容の検討に活用することで、学生の学習状況にあわせた授業の進め方をすることが可能となります。また、出席情報のデータとしても活用できるようになっています。



▲ミニッツペーパーひな型として使用できる3種のほか、独自の内容にすることも可能。



▲授業支援システム 学生HOME画面 Web上で、資料配布、レポート提出、小テスト実施、アンケート回収、出席管理などができるシステム。授業の流れに沿ったコンテンツを提示することで理解度向上が期待できます。また、掲示板(ディスカッション)機能を利用する事によって意見交換が活発に。提出レポートの管理も容易になるため、授業補充ツールとしてご利用ください。

- ポイント!
- 7 双方向授業を心がける!
  - 8 ツールを活用!

学生に知的な関心を持ってもらうには「生きた言葉」のキャッチボールが最も効果的であることは言うまでもありません。しかし、大人数授業などでは学生個々とコミュニケーションをとることは時として難しい状況があります。そのような時は大学内の教育支援ツールや施設をお勧めします。これらを活用すれば、学生同士や、教員と学生間の会話がある授業運営を推進していくことが可能になります。

代表的なツール

クリッカー

二択カード

両ツールとも、わかりやすく、かつ楽しく学生のレスポンスを集計できる。

教育支援施設

双方向授業に特化した「アクティブ・ラーニング教室」

2014年に湘南校舎にて開設した「アクティブ・ラーニング教室」。双方向授業にあわせた仕掛けがたくさん用意されている。

▲テーブル型体のイスは、2人や4人などグループディスカッションにも最適。

▲電子黒板も3面設置されており、様々な分野の授業で利用されている。

利用については、教育支援課(720-2086)へ

- ポイント!
- 9 授業についてのアンケート結果を見直す!

授業についてのアンケート結果は、翌学期以後にアンケートを実施した科目ごとに個別の集計結果を確認することができます。項目は①授業における学生の取り組み、②授業の進め方、③授業を通じて得られたこと、④『4つの力』。それぞれ、学科平均、学部平均と比較しながら値を確認してみてください。特にアンケート結果については、次期の授業改善に活用するとよいでしょう。  
なお、アンケート結果について、思い当たる原因が見当たらない場合は、教育支援センターに授業コンサルテーションの依頼も可能です。第三者の立場のスタッフによる分析から、原因に気付くことがあるかもしれません。

▲授業についてのアンケート集計結果個票(サンプル)



授業アンケートから

Tokai Univ. Teaching Award Prize

Winners List 2019

# 学生の選んだ「いい授業」

# 受賞者一覧 (2002～2018年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。  
※現在の所属名称で表示しています。

マークの見方

優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年)

\*…2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文文学科	井野上 眞弓 先生		
	英語文化コミュニケーション学科	斎藤 早苗 先生		
文化社会学部	アジア学科	葉 千栄 先生		
	ヨーロッパ・アメリカ学科	河島 思朗 先生		
	北欧学科			
	文芸創作学科	堀 啓子 先生		
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生		
		有沢 孝治 先生		
政治経済学部	経営学科	岩谷 昌樹 先生		
教養学部	国際学科	芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	
		荒木 圭子 先生		
		小山 晶子 先生		
		小貫 大輔 先生		
		田辺 圭一 先生		
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生		
	競技スポーツ学科	高妻 容一 先生		
	武道学科	天野 聡 先生		
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生		
健康学部	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生		
		小林 理 先生		
理学部	数学科	小川 竜 先生		
		古谷 康雄 先生		
	情報数理学科	土屋 守正 先生		
	物理学科	遠藤 雅守 先生		
		江川 浩 先生		
	化学科	関根 嘉香 先生		
	基礎教育研究室	及川 義道 先生		
情報理工学部	情報科学科	内田 理 先生		
	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生		
工学部	応用化学科	長瀬 裕 先生		
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生		
	機械工学科	神崎 昌郎 先生		
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生		
		中川 淳雄 先生		

観光学部	観光学科	立原 繁 先生	
情報通信学部	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	
	経営システム工学科	西口 宏美 先生	
海洋学部	水産学科食品科学専攻	森山 弘海 先生	
		齋藤 俊郎 先生	
	海洋生物学科	村山 司 先生	
	航海工学科航海学専攻	福田 巖 先生	
医学部	看護学科	岡田 夕佳 先生	
		石井 美里 先生	
農学部	応用動物科学科	樫村 敦 先生	
	応用植物科学科	松田 靖 先生	
国際文化学部	地域創造学科	広川 龍太郎 先生	
		山田 秀樹 先生	
		張 雷 先生	
	国際コミュニケーション学科	ティーンエリックスティープノ 先生	
		ハミルトンマークC 先生	
	デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	
		田川 正毅 先生	
藤森 修 先生			
生物学部	生物学科	笠原 宏一 先生	
現代教養センター		吉田 厚子 先生	
国際教育センター	英語教育部門	シロスブリーマークリチャード 先生	
		中川 浩 先生	
		星野 芳恵 先生	
	国際言語教育部門	安 小鉄 先生	
		キム ミンス 先生	
		佐藤 浩一 先生	
情報教育センター		中島 仁 先生	
課程資格教育センター	教育学研究室	永野 光浩 先生	
		朝倉 徹 先生	
	博物館学研究室	稲垣 智則 先生	
清水教養教育センター		篠原 聰 先生	
九州教養教育センター		栗原 ゆか 先生	
札幌教養教育センター		マイナー ダニエル W. 先生	
		和泉 光則 先生	



# 東海大学の 学習支援

## あなたの勉強をサポートします!

自分のペースで  
自由に勉強したい人は



ホームページ  
<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>

本学の学生及び教職員がいつでもどこでも無料で自学自習のために利用できるオンライン講座を提供しています。提供している内容は、英語、数学、物理、化学、生物、政治・経済、英語、IT基礎、自然科学の基礎、言葉の世界など様々。みなさまぜひご利用ください。



### 担当者より

始めるきっかけは様々。例えば、高校では学んでいないが学んでみたい科目がある。国語という教科ではなく日本語の美しい表現を学んでみたい。就活前に基本的な内容をおさらいしたい…。単位のためではない、自分のための学びがあります。

教育支援課 横田 卓さん

英語だけでなく、他の外国語も含めて  
苦手の克服やさらに向上を目指す人は



場所▶ 湘南校舎1号館1階B翼Global AGORA内  
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:00～18:00)

L-Navi(言語・学習相談室)では、英語だけでなく、他の外国語の学習や留学生の支援まで幅広いニーズに応えます。国際教育センターの教員や学生サポーターが、授業に限らず、資格試験や留学など、語学に関わるあらゆる質問や相談に応じます。ライブラリーやカフェもありますので、気軽に立ち寄ってください。



### 担当者より

多言語・多文化のための自由な学習・交流スペースとしてGlobal AGORA内にL-Navi(言語・学習相談室)があります。教員や学生による語学学習グループの活動や様々なイベントの企画など、言語や文化との出会いの機会を提供していきます。

国際教育センター-英語教育部門教授 長沼 君主先生

東海大学では、学生のみなさん一人一人の学習をさまざまな形で支援しています。

e-ラーニングのできる「TICU」をはじめ、外国語と理工系科目に特化した「L-Navi」「S-Navi」では、担当の先生や先輩が個別に指導してくれます。苦手分野の克服や、好きな分野の追求など、利用方法はさまざまです。まずはお気軽に学習支援室を訪ねてください。

理科や数学が苦手  
個別に対策を立てたい人は



場所▶ 湘南校舎18号館1F  
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:35～18:00)

「S-Navi」は、理工系基礎教育科目(数学、物理、化学)の学習支援を行っています。先生や先輩が、授業でわからなかったこと、レポートの書き方、勉強の方法などを親切、丁寧にアドバイスしてくれます。勉強に困った時は気軽に「S-Navi」に相談に来てください。



### 担当者より

数学や理科の講義でわからないことがあったら、S-Naviで先生や先輩に気軽に質問してください。わからないことがあるのに解決しておかないと、後でとても苦労します。テスト前だけでなく、わからなかったら早めに相談しましょう。

理学部教授 山本 義郎先生

## 教育支援センターから



教育支援センター所長  
利根川 昭 (理学部物理学科)

教育支援センターでは、学習状況や教育環境の改善のため、さまざまなアンケートを行っています。

①学期毎に全科目対象に、学生の選んだ「いい授業」にも活用されている「授業についてのアンケート」、②毎年、キャンパスライフ改善に役立っている「キャンパスライフアンケート」、③卒業時に実施する大学全般に関する「卒業にあたってのアンケート」、更に、④大学が掲げている「自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力」を把握する「4つの力」のアセスメント等、入学から卒業まで、学生一人一人の声を拾い上げ、みんなで創る理想の学びを目指しています。

ホームページには  
「いい授業」に関する情報が満載!

- 講演会・研究会開催情報
- FD研究会開催情報
- 東海大学Teaching Award  
バックナンバー

最新情報は、ホームページで確認できます。

[東海大学教育支援センター](http://www.esc.u-tokai.ac.jp/) 検索  
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>